

第 130 回 番組審議会 議事録

開催日時：2026 年 7 月 2 日（木）

1) 出席委員（総数 5 名：出席数 5 名）

大畑卓也／西本知加／宮崎千絵／伊藤健飛／近藤慎一

2) エフエムとよた出席者

堀井敦／山縣泰介／大杉達一郎／吉村俊宏／奥村聡介／岩間享弥

3) 審議番組の内容

番組タイトル：コウセイラジオ～break through the wall～

パーソナリティ：芳賀 美幸、高坂 朝人

放送日時：2026 年 4 月 17 日（金） 22 時 30 分～23 時、

4 月 19 日（日） 22 時 30 分～23 時(再放送)

2026 年 4 月 24 日（金） 22 時 30 分～23 時、

4 月 26 日（日） 22 時 30 分～23 時(再放送)

2026 年 5 月 1 日（金） 22 時 30 分～23 時、

5 月 3 日（日） 22 時 30 分～23 時(再放送)

番組概要

成人年齢の引き下げに合わせて、

罪を犯した 18、19 歳を厳罰化する改正少年法が施行されるなど、

罪を犯した若者をめぐる環境が変化する中で、

非行や犯罪から立ち直った当事者たちの経験を共有し、若者たちが罪を犯す背景、
非行や犯罪を防ぐ方策を考える番組。

豊田、みよし両市にはそれぞれ矯正施設があり、周辺住民の理解を育むことを通じて、
罪を犯した人の立ち直りを支援する。

3) 審議の内容

【大畑委員】

出演者の皆さんが明るく、親しみが持てた。

1 日の食費を抑えている流れは、受刑者が冷遇されていると感じてしまう人もいるかもしれないと感じたので、その理由も含めて話すといいと思った。

ゲストの 2 人のエピソードにも感動でき、シリアスな内容もユーモアに受け止められるようなやりとりで良かった。

【西本委員】

刑務所の本当の事情を本人、調理師から興味深い話が聴け、他の回も聞いてみたいと思った。元受刑者である人たちの遠慮のない話が聴けて面白かった。番組内で、調味料でみりん、料理酒を使えないことや、食費を抑えないといけないことに驚いた。この番組でしか伝わらないことがあるので、もっと広がってほしい。ラジオの後に、ドラマも見て、話しに出てきた内容があり、より楽しめた。専門用語が出てきたとき、MC が補足すると良いと感じた。冒頭が同じで毎週聞いている人がいると使いまわしに聞こえる。振り返りしつつ話すと良いと思った。使いまわし感が無くなるといい。

【宮崎委員】

MC の2人が自然な流れで、話題について触れ、ゲスト2人の掛け合いがあり、面白かった。刑務所という閉鎖的な場所でこのような関係が築けているのは、この人だからだと思った。その後、ドラマを見て、より深く今回聴いた内容が理解できた。受刑者に対して恐い印象を持っていたが、食という切り口から中の実情が見れて面白かった。番組最後の詩の作品紹介もよかった。音楽も自然に流れてきて、選曲も良くよかった。聴きなじみのない言葉がおおく、補足があるとより良いと思った。

【伊藤委員】

次回予告みたいなのがあると続きが気になり、聴きやすくなると思った。選曲がとてもよかった。普段、知ることのない施設について知れて、中の人もスポットが当たるのはとてもいいことだと思った。受刑者についての偏見があった中、明るく話す2人に違和感を感じたが、見方がすごく変わった。この2人の忌憚のない掛け合いは中身が濃くて、この2人の姿は、更生した人たちの希望にもなると思いました。

【近藤委員】

リアルな社会勉強になると思い、興味深い内容という意味で面白かった。選曲がよく幅広い世代にも響く内容だった。真面目な内容からの楽曲で印象的だった。料理酒、みりんが使えないような調味料の話題など、現場のリアルを聞ける内容だった。誰に向けた番組か考え、第3者に向け、出所した人たちへの偏見をなくすきっかけになると思った。